

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はるかぜ		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 2日		令和8年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 15人
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 24日		令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・パソコン検定を事業所内で開催し、資格を取れるよう支援を行う。	・試験対策としてのポイントを分かりやすく教えていく。	・ワード、エクセルだけではなく、パワーポイントや文章デザインなど、利用者さまのそれぞれの得意分野を伸ばしたり、より就職に有利になるパソコンプログラムを取り入れていける準備を行っています。
2	・取り組めた活動に対しポイントを付け、ポイントを仮想通貨に換金し、事業所内の駄菓子屋でお買い物ができる。	・週のご利用が少ない利用者さまにもポイントが溜まりやすいように、ポイントが多くもらえる日を設定したり、利用者さまが購入したい品物のリクエストを随時受け付けている。	・難易度の上がる活動(検定対策)などを高ポイント設定にし、職員と一緒に活動をすることで「少し難しいけど一緒にすれば、できるかもしれない」と活動に対する苦手意識を軽減できるよう支援を行っていく。
3	・利用者さま自身で行う活動の計画を立てていく。	・体調により活動に入ることが難しい利用者さまへ、活動の無理強いはせず、ポイント表を使い、活動が【できた日】【できなかった日】【特に頑張ることができた日】を見える化し、モチベーションが上がっていくような支援を行っている。	・活動内容とポイントをより良く見やすい表にまとめ、どの利用者さまが見ても分かりやすく、取り組みやすい環境を整えていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・プログラムが固定化しており、そのプログラムに苦手意識を感じている利用者さまがいる。	・利用者さまの中には、苦手なプログラムがあり、「どうしてもできない」「今は気分じゃない」「面倒くさい」との意見があります。	・苦手を克服することばかりに目を向けるのではなく、利用者さまが興味や意欲を持って取り組めるプログラムの再編を検討していきます。
2	・地域との関わりを構築できていない。	・事業所内のみ関わりになってしまう。	・月1回ほど事業所内でパソコンサロン兼小規模マルシェを開催し、地域の方々との交流を検討していきます。
3	・保護者様との積極的な関わりを構築できていない。	・保護者様との時間の兼ね合いもあり、保護者会を開くことが難しい。	・少数で保護者会やオンラインでの開催を目指していきます。